【飼料生産】			
作付体系	トウモロコシ・イタリアン 稲ＷＣＳ	稲ＷＣＳ	トウモロコシ 混播牧草
外部化	コントラクター	コントラクター	—
作付面積	9ha	5ha	49ha
【牛】			
分娩間隔	12.5ヵ月	—	—
初産月齢	23.5ヵ月	—	—
肥育開始時月齢	６ヵ月	８ヵ月	乳用種６ヵ月齢、交雑種７ヵ月齢
出荷月齢	25ヵ月齢程度	27ヵ月齢程度	乳用種20ヵ月齢程度、交雑種23ヵ月齢程度
肥育期間	19ヵ月齢程度	19ヵ月齢程度	乳用種14ヵ月齢程度、交雑種16ヵ月齢程度
出荷時体重	710kg以上	710kg以上	乳用種800kg以上、交雑種780kg以上
１日当たり増体重	0.82以上	0.82以上	乳用種1.25以上、交雑種1.09以上
（参考）肉質等級	Ａ３－４	Ａ３－４	Ｂ２、Ｂ３
【土・草】			
10ａ当たり生産量	トウモロコシ5,400kg イタリアン6,300kg 稲ＷＣＳ3,500kg	稲ＷＣＳ3,500kg	トウモロコシ6,000kg 混播牧草4,100kg
経営内飼料自給率	25%	10%	25%
粗飼料給与率	30%	20%	30%
たい肥利用方法	経営内利用４割	経営内利用２割	経営内利用６割
	経営外利用６割	経営外利用８割	経営外利用４割

(注)

肉専用種	専ら牛肉を生産するための品種。
交雑種	異なった品種を掛け合わせたもので、Ｆ１（エフワン）とも言う。一般にホルスタイン種の雌に肉専用種の雄を掛け合わせた肉用牛で、肉質は肉専用種と乳用種の中間に位置する。
乳用種	ホルスタイン種の雄子牛（ヌレ子）を肥育する肉用牛。
繁殖・肥育一貫	繁殖と肥育に一体的に取り組む経営。
育成・肥育一貫	育成と肥育に一体的に取り組む経営。
牛房群飼	１つの牛房の中で複数の牛を飼う方法。牛が牛房の中を自由に歩き回ることができる。連動スタンチョンとセットで用いられることが多い。
連動スタンチョン	スタンチョンは牛に飼料を給与するなどの際に牛をつかまえる装置。連動スタンチョンは、連続したスタンチョンの開閉を同時に行うことができるシステム。
分離給与	粗飼料と濃厚飼料を別々に給与する方式。昔ながらの給与スタイル。
稲ＷＣＳ	稲発酵粗飼料の略。稲の子実と茎葉を同時に収穫し、サイレージ（発酵粗飼料）として調製された飼料。
ＴＭＲ	完全混合飼料の略。粗飼料や濃厚飼料などを混合し、牛に必要な栄養素をバランス良く含む飼料。
イタリアン	イタリアンライグラス。イネ科。湿害に強いことなどから、関東以西の水田の裏作を中心に作付けされ、嗜好性に優れる。
混播（牧草）	牛の栄養バランス、草地の生産性を考慮して、イネ科牧草とマメ科牧草を混ぜて播種すること又はその牧草。
コントラクター	飼料生産受託組織。飼料作物の作付けや収穫などを専門的に請け負う組織のこと。